

第98期 中間報告書

平成21年4月1日 ▶ 平成21年9月30日まで

B U S I N E S S
R E P O R T

「屋上緑化なんて小さいね。 夢は世界緑化なんだから」

—— 開発者談

自らが呼吸しているような
画期的新建材「グリーンビズ™」
いよいよ本格販売開始。

www.token-web.com/work/greenbiz.html

「世界緑化」。

手前味噌ですが、それぐらいすごいモノが
できたと思っています。

たった50cm角のセラミック基盤。

しかしその中に、

ここでは書ききれないほどの技術が
いっぱい詰まっているのですから。

だから“屋上”にだけ使われるなんて
本当にモッタイナインです。

世界中の「緑を増やしたい」と考える人に、
もっと易しく、もっと費用をかけず、
今あるモノにかかる負担を、少しでも減らすように。
自らが呼吸しているような新建材「グリーンビズ™」。
まずは日本の皆さまに、いよいよお披露目です。

超微多孔スポンジ状セラミック基盤「グリーンビズ™」

「グリーンビズ™」は染色排水浄化で生じた微生物と、多孔質の珪藻土、粘土を混練し、1000℃以上の高温で焼き上げた、スポンジ状の連通気孔と超微多孔構造を有する特殊セラミック基盤です。グリーンビズに多肉性植物セダムなどを植栽したものがグリーンビズ-Gです。



グリーンビズ™



グリーンビズ™-G

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素から格別のご支援を賜わり、厚くお礼申し上げます。ここに小松精練株式会社の第98期第2四半期（平成21年4月1日から9月30日まで）の業績についてご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、一部の産業において、景気の悪化に底打ちの兆しが見られたものの、全体としては世界的景気後退の影響を強く受けており、企業業績や雇用情勢は依然として改善せず、個人消費は低迷するなど、引き続き厳しい状況で推移いたしました。繊維業界におきましては、低価格志向が一段と強まり最終製品の価格が大きく落ち込む中、原材料価格の再上昇の影響なども受け、更には消費者の生活防衛意識の高まりによる買い控えが鮮明となり消費が落ち込むなど、全体として非常に厳しい環境が継続いたしました。

このような状況の中、当社グループは攻めの経営方針を崩さず、今後の成長に向けた新素材の開発と、国内外での積極的な展示会開催による新規市場の開拓や、多角化に向けた新規事業の推進などに経営資源の投入を行いました。同時に、製造段階でのムダ・ロスの排除やフレキシブルな生産体制の整備によるローコスト化など利益体質の強化に努めました。しかしながら、市況低迷の影響は避けられず大幅な減産を余儀なくされました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、166億50百万円（前年同期比22.1%減）となり、営業利益は5億44百万円（前年同期比43.6%減）、経常利益は7億19百万円（前年同期比39.2%減）、四半期純利益は5億41百万円（前年同期比41.6%減）となりました。

◆
今後の見通しにつきましては、一部の業種に企業業績回復の兆しが見られるものの、消費不振、デフレ傾向など、経済環境の速やかな好転は見込めず、更には円高の定着による輸出環境の悪化もあり、予断を許さぬ状況が続くと予想されます。

このような環境下、当社グループは期初より掲げる“量より質（利益）”の方針を重視し、非価格競争力の高い高感性、高機能素材の開発と市場導入に積極的に経営資源を投入し、国内外問わず、マーケットの拡大を進めてまいります。同時に、これまで実施してきた、「コスト・カット・プロジェクト」をより強化させ、一層の原価低減を推進することにより、収益基盤の強化を目指してまいります。

以上により、当連結会計年度通期の



業績につきましては、5月12日に公表した業績予想である売上高320億円、営業利益10億円、経常利益12.5億円、当期純利益8億円を据え置きます。

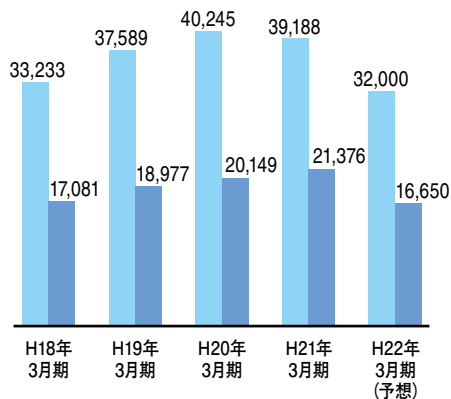
◆
当社グループは「One小松精練」の方針のもと、「100%お客様志向の会社」を目指し、更なる企業価値の向上に努める所存であります。株主の皆様におかれましては、引き続き一層のご理解とご支援を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

代表取締役社長 蓮本 英信

売上高

(百万円)

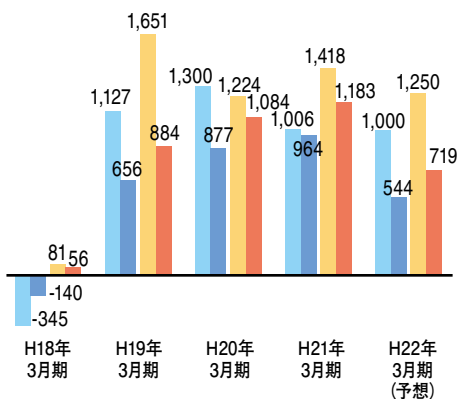
売上高 (通期)
売上高 (第2四半期)



営業利益・経常利益

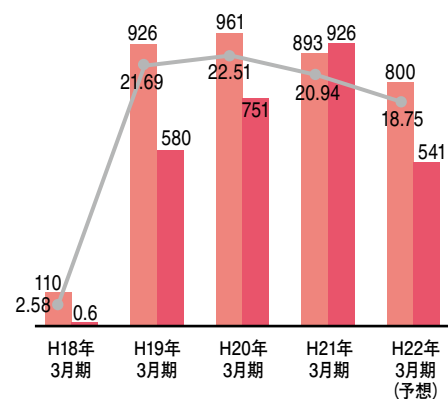
(百万円)

営業利益 (通期)
営業利益 (第2四半期)
経常利益 (通期)
経常利益 (第2四半期)



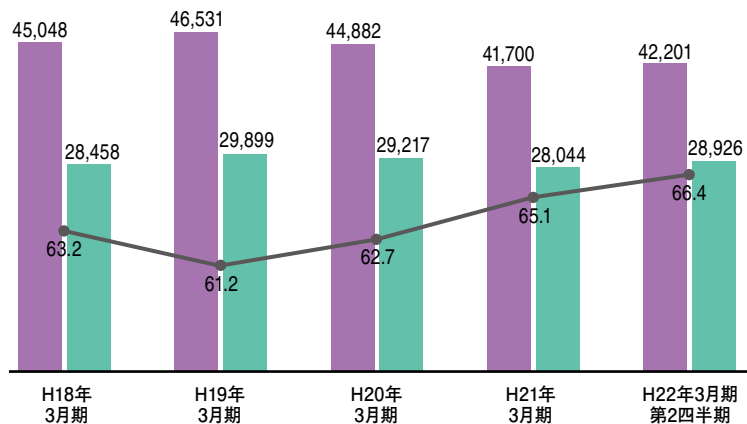
当期純利益・1株当たり当期純利益

当期純利益 (通期) (百万円)
当期純利益 (第2四半期) (百万円)
1株当たりの当期純利益 (通期) (円)



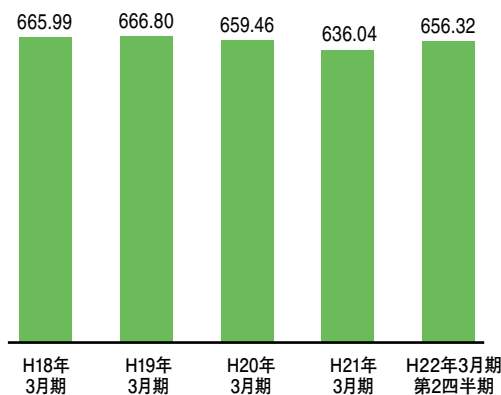
総資産・純資産・自己資本比率

総資産 (百万円)
純資産 (百万円)
自己資本比率 (%)



1株当たり純資産

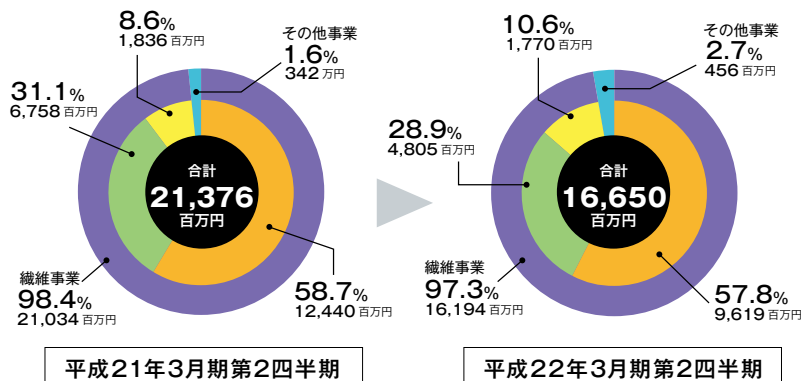
1株当たり純資産 (円)



事業別売上状況

平成21年4月1日から9月30日まで

■ 衣料ファブリック部門 ■ 資材ファブリック部門 ■ 製品部門



事業別売上状況

平成21年4月1日から9月30日まで

■ 繊維事業

衣料ファブリック部門は、「ルガーノ」、「モナリザ」などの高感性素材がファッション分野で順調に拡大し、スポーツ分野では機能ニット素材や差別化ナイロン素材が堅調に推移しました。しかしながら、マーケットの市況回復が遅れていることもあり、全体として低調に推移し前年同期比で減収となりました。

資材ファブリック部門は、医療・福祉分野は堅調に推移しましたが、車輦分野は、前半の自動車メーカーの減産による影響が大きく、前年同期比減収となりました。

製品部門は、夏場の天候不順の影響を受けたものの、ユニフォーム、製品染めなどの各分野が堅調に推移し前年同期比で微減収となりました。

以上の結果、繊維事業の売上高は前年同期比23.0%減の161億93百万円となりました。

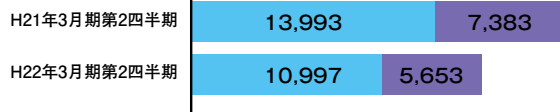
■ その他事業

物流分野が堅調に推移し、また商事分野の小松エージェンシー(株)を連結子会社に加えた結果、その他事業の売上高は前年同期比33.3%増の4億56百万円となりました。

消費地別売上状況

平成21年4月1日から9月30日まで

■ 国内 ■ 海外 単位: 百万円



消費地別売上状況

平成21年4月1日から9月30日まで

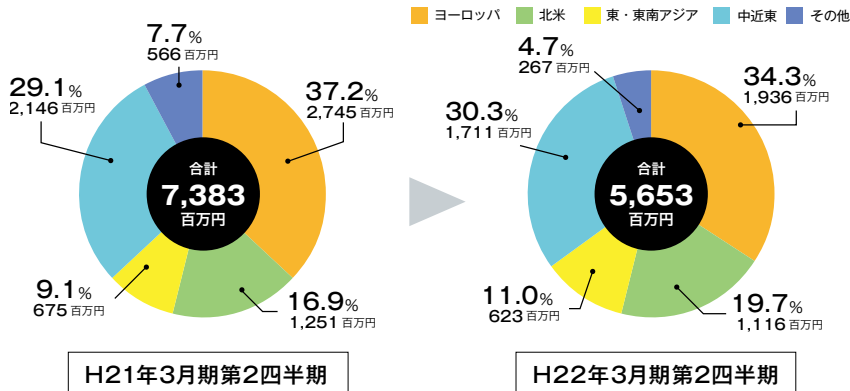
■ 国内売上高

医療分野は拡大し、スポーツファブリック分野が堅調に推移するも、昨秋からの世界的な経済不況の影響や夏場の天候不順などによる市況低迷の影響は避けられず、業界全体が減産を余儀なくされました。全体として衣料ファブリック、資材ファブリックともに受注が減少し、前年同期比21.4%減の109億97百万円となりました。

■ 海外売上高

中国国内の景気回復を受け、小松精練(蘇州)有限公司の中国国内販は堅調に推移しました。しかし世界的な経済不況の長期化や為替の影響等もあり、欧米向け衣料ファブリック(特にスポーツ分野)が減少し、更に、これまで好調だったドバイを中心とした中東市場も急激に冷え込むなど、海外売上高は全体として低調に推移し、前年同期比23.4%減の56億53百万円となりました。

海外売上高の内訳



TOPICS

環境循環型企业へ

保水性と断热性に優れた新建材「グリーンビズ」に熱い視線

小松精練は11月11日から3日間、幕張メッセ（千葉県）で開催された「第3回国際ガーデンEXPO」に当社が開発した新建材「グリーンビズ」と、このグリーンビズにセダムなどの多肉性植物を植栽した「グリーンビズ-G」を初出展しました。期間中、当社ブースには予想をはるかに上回る、1200人以上の来場者があり、連日熱気溢れる商談が繰り広げられました。

「グリーンビズ」は染色排水浄化で生じた余剰微生物のリサイクルから生まれた、超



ガーデンEXPO

微多孔構造を有するスポンジ状特殊セラミックス基盤です。屋上などに「グリーンビズ」を敷き詰めた場合、降った雨水が基盤内部に蓄積され、この水分が蒸発する際に気化冷却（打ち水）効果を発揮します（写真右）。また、基盤内の微細な空間群がデットエア層となり、夏は断热効果、冬は保温効果が得られます。実際に、金沢工業大学の協力を得て、「グリーンビズ」を敷き詰めた屋上から室内への熱流入量を調べたところ、およそ62%の流入熱を抑制するという結果が得られました。

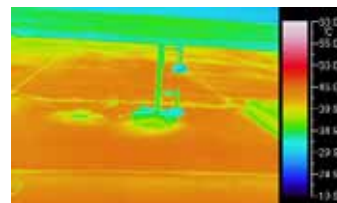
この「グリーンビズ」の特長を活かす用途の一つとして屋上緑化があり、組み合わせる植物の種類によっては、自然の雨だけで植物の生育が可能です。また、「グリーンビズ」は1000℃の高温で焼成しているため、無機質・無害な基盤のため、廃材はそのまま土に戻すことができます。

「グリーンビズ」は低炭素社会の実現に

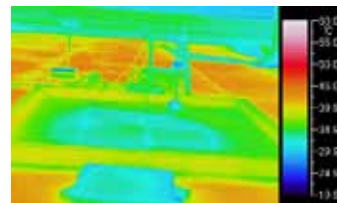
貢献する、環境に負荷をかけない画期的新素材として、屋上緑化業界のみならず、さまざまな業界から大変注目されています。

同時刻の屋上温度の比較

（協力：金沢大学大学院自然科学研究課）



コンクリート打ちっぱなしの屋上



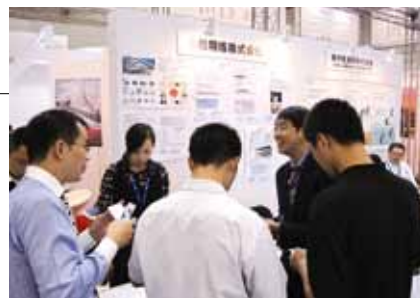
グリーンビズを敷いた屋上

巨大市場の開拓

中国最大規模のIT見本市に出展

10月22日から25日、中国の蘇州国際博覧センター（蘇州）でIT分野見本市「中国蘇州電子情報博覧会」が開催され、当社は、電磁波ノイズ抑制シート、有機EL封止材などを出展しました。この見本市は、中国国内で最大規模を誇り、全世界から約

630社が出展、4日間で約15万人が来場されました。当社ブースには連日多くのバイヤーが来場され、高い評価をいただくことができ、巨大な中国マーケットの新規開拓に向けて足がかりとなりました。



展示会の様子

新商品紹介

アクセサリーアイテムをターゲットにした新素材 ▶ 2009年6月

知恵と技術を凝縮させた スタンディングファブリック「コンブ-N」

国内外を問わず多くの有力なファッション、スポーツアパレルはいま、斬新な素材を使ったバッグや小物なども提案し、衣類とのトータルコーディネートでそのブランドの価値と発進力を高めています。小松精練も従来の枠を超えた新しい素材の開発を進め、バッグなどのアクセサリーアイテムをターゲットにした新素材「コンブ-N」を完成させました。

「コンブ-N」は、当社独自の特殊加工技術でナイロンの繊維一本一本を膨潤させることによって、生地に膨らみ感を与えボリュームをアップさせています。さらに、繊維自体も改質させているため、ナイロンの結晶化度を高める

ことで、風合いを適度に硬化させています。これによって、海産品の昆布のようなドライ感・締め感（コンパクト感）と、自立できるほどの硬さを兼ね備えた、これまでにない斬新なファブリック「コンブ-N」が誕生しました。

発表後、国内外のトップメゾンだけではなく、大手バッグメーカーなどからも高い評価を得ており、新しい素材カテゴリーの一つとして位置付けられつつあります。

小松精練は、これからも高次後加工技術と匠の知恵を結集させ、市場が求める斬新な素材の開発を進めてまいります。



コンブ-N染色前



コンブ-N染色後



スナバック-27 製品写真

最新技術により生まれ変わった新素材

▶ 2009年9月

懐かしくて新しい 新感覚ナイロンファブリック「スナバック-27」

小松精練は、27年前に誕生し一世を風靡したナイロンシワ加工素材「スナバック」を現在に甦らせた「スナバック-27」を完成させ、パリ発で全世界に向けて発表しました。

「スナバック-27」は、近年、80年代のファッションやデザインに現代の感性をアレンジした商品が数多くリバイバルされていることに着目し、当時のマシンに改良を加え、現代の糸軸・製織技術で織り上げた生地を用いて、匠の技で現在に甦らせたナイロン素材です。

タイプは27年前の素材感を完全に複製させた「レギュラータイプ」、ナイロンを感じさせな

いしっとりとした質感を与えた「なめしタイプ」、やわらかい表情のシワと適度な落ち感を与えた「ドレッシータイプ」の3種類があり、いずれも国内外のトップメゾンから絶賛され、この秋冬物向けの素材として即受注につながるなど注目を集めています。

小松精練は、これからも市場が求める斬新な素材開発を進め、さらなるマーケットの開拓を進めていきます。



スナバック-27の生地を拡大したもの

連結貸借対照表の要旨

平成21年9月30日現在

資産の部

科目	金額
■ 流動資産	24,068
現金及び預金	6,368
受取手形及び売掛金	9,591
有価証券	3,750
たな卸資産	3,916
繰延税金資産	149
その他	393
貸倒引当金	△ 100
■ 固定資産	18,133
[有形固定資産]	9,247
建物及び構築物	3,621
機械装置及び運搬具	3,254
土地	2,132
建設仮勘定	13
その他	226
[無形固定資産]	331
[投資その他の資産]	8,553
投資有価証券	6,708
繰延税金資産	1,529
その他	338
貸倒引当金	△ 23
資産合計	42,201

負債の部

科目	金額
■ 流動負債	8,419
支払手形及び買掛金	6,124
短期借入金	511
未払金	203
未払法人税等	180
賞与引当金	216
その他	1,182
■ 固定負債	4,856
退職給付引当金	4,271
役員退職慰労引当金	422
繰延税金負債	63
その他	99
負債合計	13,275

純資産の部

科目	金額
■ 株主資本	28,134
資本金	4,680
資本剰余金	4,720
利益剰余金	18,944
自己株式	△ 211
■ 評価・換算差額等	△ 129
その他有価証券評価差額金	△ 56
為替換算調整勘定	△ 72
■ 少数株主持分	921
純資産合計	28,926
負債純資産合計	42,201

単位：百万円

連結損益計算書の要旨

平成21年4月1日から平成21年9月30日まで

単位：百万円

科目	金額
■ 売上高	16,650
売上原価	13,645
売上総利益	3,004
販売費及び一般管理費	2,460
■ 営業利益	544
営業外収益	193
受取利息及び配当金	73
持分法投資利益	35
その他	85
営業外費用	18
支払利息	4
その他	14
■ 経常利益	719
特別利益	232
国庫補助金収入	232
特別損失	209
固定資産売却損	5
固定資産圧縮損	201
その他	1
■ 税金等調整前四半期純利益	742
法人税、住民税及び事業税	164
法人税等調整額	24
少数株主利益	11
■ 四半期純利益	541

連結株主資本等変動計算書の要旨

単位：百万円

平成21年4月1日から平成21年9月30日まで

	株主資本					評価・換算差額等			少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等 合計		
平成21年3月31日残高	4,680	4,720	18,659	△ 210	27,849	△ 547	△ 160	△ 708	903	28,044
当連結会計年度中の変動額										
剰余金の配当			△ 256		△ 256					△ 256
四半期純利益			541		541					541
自己株式の取得				△ 1	△ 1					△ 1
その他				1		491	87	579	17	597
当連結会計年度中の変動額合計			285	0	284	491	87	579	17	881
平成21年9月30日残高	4,680	4,720	18,944	△ 211	28,133	△ 56	△ 72	△ 129	921	28,926

キャッシュ・フロー計算書の要旨

単位：百万円

平成21年4月1日から平成21年9月30日まで

科 目	金 額
■ 営業活動によるキャッシュ・フロー	1,530
税金等調整前四半期純利益	742
減価償却費	749
引当金の増減額(減少：△)	347
売上債権の増減額(増加：△)	△ 805
仕入債務の増減額(減少：△)	△ 440
たな卸資産の増減額(増加：△)	791
法人税等の支払額	△ 17
その他	162
■ 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,333
固定資産の取得による支出	△ 745
固定資産の売却による収入	1
有価証券の取得・売却(取得：△)	199
投資有価証券の取得・売却(取得：△)	△ 2
その他	△ 786

科 目	金 額
■ 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 262
短期借入金の純増減額(減少：△)	△ 5
配当金の支払額	△ 255
その他	△ 1
■ 現金及び現金同等物に係る換算差額	13
■ 現金及び現金同等物の増減額(減少：△)	△ 51
■ 現金及び現金同等物の期首残高	7,477
■ 連結範囲の変更に伴う影響額	83
■ 現金及び現金同等物の期末残高	7,509

貸借対照表の要旨

平成21年9月30日現在

単位：百万円

資産の部

科目	金額
■ 流動資産	19,551
現金及び預金	4,916
受取手形及び売掛金	6,649
有価証券	3,750
たな卸資産	2,828
関係会社貸付金	1,210
繰延税金資産	137
その他	139
貸倒引当金	△ 79
■ 固定資産	16,768
[有形固定資産]	5,973
建物及び構築物	2,445
機械装置及び運搬具	1,822
土地	1,516
その他	189
[無形固定資産]	84
[投資その他の資産]	10,710
投資有価証券	4,798
関係会社株式	3,949
関係会社長期貸付金	220
繰延税金資産	1,473
その他	281
貸倒引当金	△ 12
資産合計	36,319

負債の部

科目	金額
■ 流動負債	5,109
支払手形及び買掛金	4,301
未払金	105
未払法人税等	140
賞与引当金	176
その他	387
■ 固定負債	4,481
退職給付引当金	4,034
役員退職慰労引当金	392
その他	55
負債合計	9,591

純資産の部

科目	金額
■ 株主資本	26,783
資本金	4,680
資本剰余金	4,720
利益剰余金	17,593
自己株式	△ 211
■ 評価・換算差額等	△ 54
その他有価証券評価差額金	△ 54
純資産合計	26,728
負債純資産合計	36,319

損益計算書の要旨

平成21年4月1日から平成21年9月30日まで

単位：百万円

科目	金額
■ 売上高	12,772
売上原価	10,582
売上総利益	2,190
販売費及び一般管理費	1,872
■ 営業利益	317
営業外収益	155
受取利息及び配当金	84
その他	71
営業外費用	7
支払利息	0
その他	7
■ 経常利益	465
特別利益	235
国庫補助金収入	232
その他	3
特別損失	203
固定資産圧縮損	201
その他	1
■ 税金等調整前四半期純利益	498
法人税、住民税及び事業税	128
法人税等調整額	48
■ 四半期純利益	320

株主資本等変動計算書の要旨

平成21年4月1日から平成21年9月30日まで

単位：百万円

	株主資本					評価・換算差額等	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	
平成21年3月31日残高	4,680	4,720	17,528	△ 210	26,719	△ 548	26,171
当期変動額							
剰余金の配当			△ 256		△ 256		△ 256
四半期純利益			320		320		320
自己株式の取得				△ 1	△ 1		△ 1
その他			0	1	0	493	494
当期変動額合計			64	0	63	493	556
平成21年9月30日残高	4,680	4,720	17,593	△ 211	26,783	△ 54	26,728

役員・執行役員

平成21年11月30日現在

役職	氏名
代表取締役会長	中山 賢一
代表取締役社長	蓮本 英信
取締役専務執行役員	高木 泰治
取締役専務執行役員	石倉 幸雄
取締役常務執行役員	池田 哲夫
取締役上席執行役員	橋爪 諭
取締役上席執行役員	山竹 俊樹
取締役執行役員	奥谷 晃宏
取締役執行役員	尾野寺 賢
取締役	橋本 和司
取締役	浅葉 修
取締役	尾川 勝也
監査役	竹内 和也
監査役	本谷 佑久
監査役	香川 裕行
監査役	割出 雄一
執行役員	中村 正一
執行役員	折本 忠
執行役員	中山 大輔
執行役員	向 潤一郎
執行役員	米谷 俊泰

発行済株式数・株主数

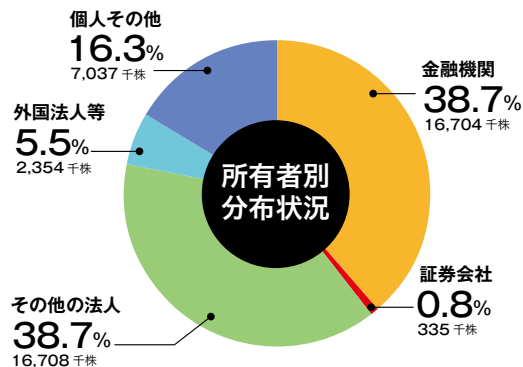
発行済株式数 ● 43,140,999 株

株主数 ● 3,389 名

大株主及び持株比率

株主名	持株数	持株比率
東レ株式会社	2,649 千株	6.14%
株式会社北國銀行	2,113 千株	4.90%
第一生命保険相互会社	1,550 千株	3.59%
日本生命保険相互会社	1,467 千株	3.40%
小松精練松栄会	1,267 千株	2.94%
株式会社北陸銀行	1,263 千株	2.93%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	1,255 千株	2.91%
三菱商事株式会社	1,250 千株	2.90%
住友信託銀行株式会社	1,230 千株	2.85%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	1,166 千株	2.70%

所有者別分布状況



会社の概況

商号	小松精練株式会社
設立年月日	昭和18年10月8日
資本金	46億8,042万円
本社	〒929-0124 石川県能美市浜町又167番地
本社工場	同上
美川工場	石川県白山市鹿島町1号7番地1
大阪営業所	大阪市中央区本町2丁目5番7号（大阪丸紅ビル4階）
東京営業所	東京都中央区銀座3丁目9番7号（トランス銀座ビルディング8階）
北陸営業所	石川県能美市浜町又167番地（小松精練株式会社 本社2階）
上海事務所	上海市延安西路2200号（上海国際貿易センター1913号）

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会・期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	大阪市中央区北浜4丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	大阪市中央区北浜4丁目5番33号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	0120-176-417
URL	http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html
1単元の株式の数	1,000株
公告の方法	電子公告の方法により行います。 http://www.komatsuseiren.co.jp/investor/index.html 上記ホームページの「電子公告」をクリックして下さい。 ただし、電子公告によることができない事故 その他やむを得ない事由が生じた場合は、 日本経済新聞に掲載して行います。
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第1部

グループ企業

小松精練(蘇州)有限公司 染色加工	中国・江蘇省蘇州市
株式会社ケイズテック 車輦内装材製造	石川県白山市
ケーエス染色株式会社 染色加工	石川県能美市
株式会社ヤマトヤ 繊維製品の企画・製造・販売	大阪市東住吉区
株式会社コマツインターリンク 包装・倉庫・運送	石川県能美市
小松エージェンシー株式会社 商品販売・保険代理店	石川県能美市

特別口座について

株券電子化前に「ほふり」（株式会社証券保管振替機構）を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の住友信託銀行株式会社に口座（特別口座といいます。）を開設いたしております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

単元未満株式の買増・買取について

単元未満株式（1,000株未満の株式）をご所有の株主様は、単元株に不足する数の株式を当社から買増して単元株とすることができません。また、ご所有の単元未満株式の買取を当社にご請求することもできません。ご希望の場合、証券会社等の口座管理機関に口座を開設されている株主様は証券会社等宛に、特別口座にて管理させていただいている株主様は、特別口座の口座管理機関である住友信託銀行宛（左記の電話照会先）にお申し出ください。なお、手数料はいずれも無料となっております。